地上（1957）

メディア 映画
ジャンル ロマンス
製作国 日本
色彩 Color
時間 98分
初公開日 1957/11/22
公開情報 大映

【解説】
島田清次郎の自伝的作品でありベストセラーとなった同名小説のうち「第1部　地に潜むもの」を映画化。新藤兼人の脚本を吉村公三郎が監督した。音楽は伊福部昭。
大河平一郎は金沢中学の五年生。母のお光と置屋の二階で貧しい生活を送っていた。そこへ置屋に売られそうになった冬子が逃げ込んでくるが、平一郎には彼女を助けることができない。針仕事だけでは生計が立てられなくなってきたお光は、置屋の春風楼で下働きをしようとするが、平一郎に止められる。その平一郎は通学途中ですれ違う和歌子に想いを寄せ、友達を通じて手紙を渡すことに成功。和歌子からも恋文をもらう。しかしその恋文を学校で発見され、平一郎は定額に処分を受けてしまう。

【クレジット】
監督 吉村公三郎
製作 永田雅一［製作］
企画 川崎治雄
原作 島田清次郎
脚本 新藤兼人
撮影 中川芳久
美術 間野重雄
音楽 伊福部昭
出演 川口浩
野添ひとみ
香川京子
川崎敬三
佐分利信
田中絹代
入江洋佑
安城啓子
月田昌也

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.